

CITIZEN®

電波時計（デジタル掛置兼用時計） 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 掛けても置いても使えます
- 温度と湿度を表示します
- 電池の交換時期をお知らせします

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jpお問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「BRZ111」をお伝えください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1008)

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

強制 必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■液晶表示板について

注意 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

禁止 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下の所では、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。

- 浴室など湿気が多い所。
- ほこりが多く発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 掛けて使用した場合、静電気により時計や壁面が汚れることがあります。定期的に汚れをおとしてください。

時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。
- 電池を取り外してください。

おもな製品仕様

時間精度 ▶電波の受信に成功している場合（受信直後）表示精度 ±1秒
▶電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒（常温中のクォーツ精度）

使用温度範囲 -10～+50℃ 液晶表示可能温度範囲は0～40℃ *結露しないこと

使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 4個

電池寿命 約3年

標準電波 標準電波受信による時刻修正

受信局 福島局／九州局自動選択

受信回数 自動受信回数 8回/日 1時から4時、13時から16時各時間帯の16分40秒に受信開始

受信 ON/OFF あり

表示方式 LCD（液晶）

時刻表示形式 12時間／24時間制切り替え

カレンダー 西暦2010～2099年対応 六曜は2030年まで対応

温度表示 -9.9～+50℃ 温度精度±2℃

湿度表示 20～95% 湿度精度±10%（温度が5～50℃の範囲のとき）

防塵・防滴機能 なし

○液晶表示は5年を超えると表示が薄くなる場合があります。

○液晶は低温では表示が薄くなったり、反応が遅くなる場合があります。また、高温では表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。

○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池 4個	木ねじ	1個	取付金具	1個	くぎ	4個
取扱説明書	本書	保証書	1枚			

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波（JJY）は、日本標準時（JST）をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

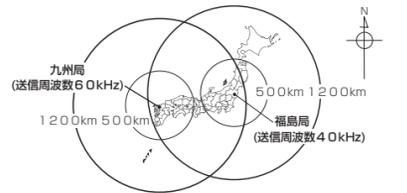
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jjy.nict.go.jp）

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について

- 本製品は、電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。Ⓢ アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例：Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

- 注意** ●電池に傷をつけたり、分解しない。 ●電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。 ●時計を使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

注意 火に入れると破裂の原因となり危険です。

Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる） 受信機能 ON（有効にして受信を開始する）
電波受信スイッチをOFFにしてください。 電波受信スイッチをONにして、リセットボタンを押してください。受信を開始します。
○カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。 ○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

Ⓑ 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても継続して時刻を表示します。

○手動で時刻合わせをしているときは機能しません。

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2010年1月1日午前12:00に初期化されます。

電波受信スイッチがONのときは受信を開始します。

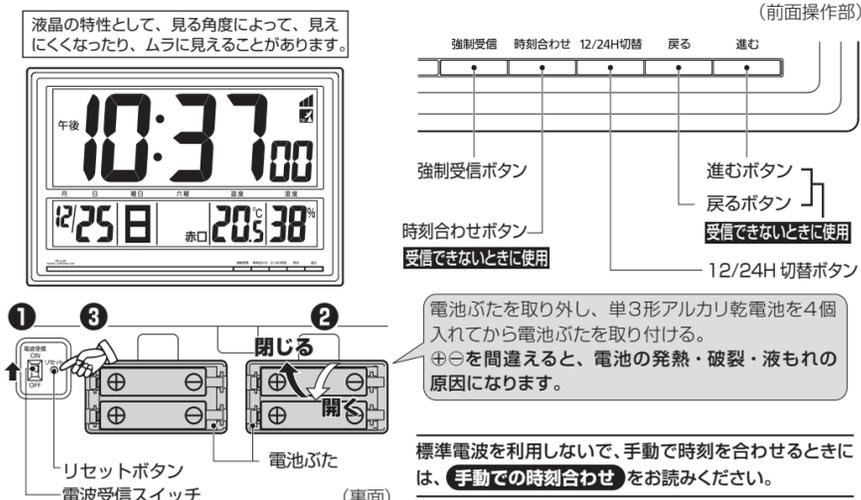
- 電波受信スイッチがOFFのときは、強制受信ボタンまたはリセットボタンを押しても受信を開始しません。

静電気の影響について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

1 電波を受信して時刻を合わせる

※図は操作説明用ですので実際のものとは異なることがあります。



【受信の流れと表示】

(リセットボタンを押した直後)



電波の受信しやすい窓際などでご使用ください。

- 1 電波受信スイッチをONにする
 - 2 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
 - 3 リセットボタンを細いボールペンなどで押すと受信マークが点滅し受信を開始します
 - 4 20分経過したら受信結果を確認する
受信に要する時間は、最長で約20分です。受信マークが点灯していたら受信成功です。
※【受信の流れと表示】参照
- 受信中はボタンやスイッチに触れないでください。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない 受信しやすい

チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

受信成功すると受信マークが点灯

受信マークは受信成功後、24~25時間点灯

受信に成功したときの表示例

受信に失敗したときの表示例

受信マーク消灯失敗!

※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

※受信に失敗した場合は、表示されている時刻は正しくありません。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、受信できなかったり、誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざや、取扱説明書の日本地図を参考にして送信所になるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

手動での時刻合わせ

- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押しつづけます。
 - (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。
 - 進むまたは戻るボタンを押してつづけて早送りまたは早戻しになります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
- ※電波受信スイッチがONの場合、手動で時刻合わせしても、自動受信を行い、受信に成功すると日付、時刻を修正します。
- ※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。
- 時刻は12/24時間の表示がありますので、時刻を合わせる時に注意してください。
 - 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用するときには、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。電波受信スイッチがONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波を受信しにくい環境

- つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - ビルの地下など
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
 - 朝夕の時間帯、雨天のとき
 - 家電製品やOA機器の近く
 - スチール机等の金属製家具の上や近く

操作例. 2011年12月25日 午前10:37に合わせる

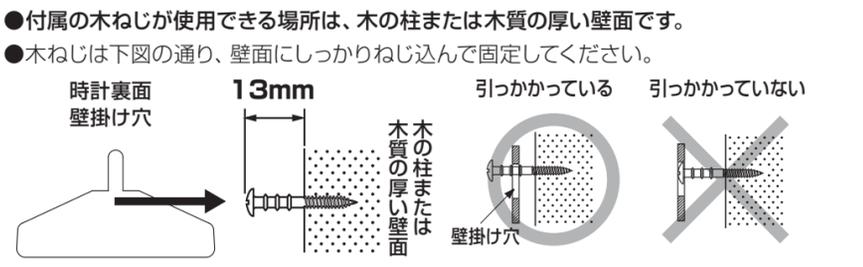
時刻合わせボタン

- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押しつづける。
- 進む/戻るボタンで「年」を「2011」に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 進む/戻るボタンで「月」を「12」に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 進む/戻るボタンで「日」を「25」に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 進む/戻るボタンで「時」を「10」に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 進む/戻るボタンで「分」を「37」に合わせます。このとき進むまたは戻るボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。
- 時刻合わせボタンを押して設定を終わります。

2 時計の設置

- 掛ける** 掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
 - 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具(木ねじ)に確実に掛かっていることを確認してください。
 - 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
 - ドア閉開時の振動などが伝わらないところに設置してください。
- 強制**
- 注意**

木の柱または木質の厚い壁面の場合



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図の通り、付属のクギ4本でしっかり固定してください。

取り付け方 取付金具 タイプA 取付金具 タイプB

金具を水平にして①②の順序でクギを打つ。

クギ

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

石こうボードの壁面

- 壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

引っかかっている 引っかかっていない

置く

置時計としてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

スタンド

※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。

※掛けて使用するときにはスタンドをきっちり収納してください。

スタンドの開閉は、左右のPULLと表示してあるところを操作してください。

3 表示の切り替え

時刻合わせ 12/24H切替 戻る 進む

12/24H切替ボタン

12時間表示 (午前/午後表示付) 24時間表示 (00:00:00~23:59:59)

12/24H切替ボタンを押すと時刻の表示形式が切り替わります。

- 電波の受信中および現在時刻の設定中は、表示を切り替えることはできません。
- 六曜について**
- 旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。
- ※六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。
- ※六曜は、2030年以降は表示されません。

4 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、**電池マーク**が表示されます。このマークが表示されたら、お早めに電池を交換してください。

電池を交換したときは、必ずリセットボタンを押してください。

◆ 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても3年に1回定期的に交換する。
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池に表示されている使用推奨期限が3年以上先のものを使用する。例えば、2013年10月に交換するときは10-2016(月・年)より先の表示があるものを使用してください。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

注意

液もれ!

温度と湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温 「LL.L」-9.9℃より低温

湿度「HH」95%を超えている 「LL」20%未満 「--」測定不能(温度が5~50℃の範囲外)

設置場所について

空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

屋外、温室、プール、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

湿度は設置場所により変わります

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでます。

※本製品は室内用です。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

※測定した温度・湿度を証明または商取引に使用することはできません。